



廿日市市

地域支援員だより



2024 夏号

地域支援員とは

地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかりながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。任期は最長3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、廿日市市でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。

年に4回、お届けします。

家の処分でお困りの方必見!! 廿日市市空き家バンクをご利用ください。

空き家バンク制度とは

中山間地域等の空き家を市を通じて紹介し市に移住したい人に市内の空き家の情報を提供するシステムです。空き家を売りたい人、買いたい人等への情報提供を行うことで空き家の有効活用を目指します。



安心した不動産取引のために

お互いの売買意思が合致した後は当事者間で契約を結びます。不動産を売買するときは複雑な手続きが必要になり、十分な知識がないまま契約を結ぶと後々トラブルが生じる可能性があります。そこで専門家である不動産仲介業者に依頼すれば仲介手数料が発生しますが安心して取引を進めることができます。なお、手数料については法令により不動産の価格から上限額が定められているので右図を参考にしてください。

空き家について気になることがあれば、住宅政策課又は地域支援員の田崎までお気軽にご相談ください。

定住推進担当 田崎

不動産仲介手数料の上限(売買時)

(例)300万円(税抜き)の売買ケース
300万×4%+2万=14万円(+消費税)

取引物件価格(税抜き)	仲介手数料の上限
400万円超	取引物件価格(税抜)×3%+6万円+消費税
200万円超～400万円以下	取引物件価格(税抜)×4%+2万円+消費税
200万円以下	取引物件価格(税抜)×5%+消費税

※賃貸、低廉な空き家等は別途定め有

佐伯高等学校

Saeki Quest 2.0 (探究学習)

これまで多くの地域の方々にご協力をいただき、さまざまな課題解決活動に取り組んできた佐伯高校の探究学習ですが、生徒の学びの高度化・自律化を目指してさらに内容をアップデートし、「SAEKI QUEST2.0」として始動しました。なかには、自分の好きなことや興味のあることを明確化することに苦勞する生徒もあり、それでも一生懸命自身を深掘りして、自分の強みを活かした取り組みが出来ないか模索する姿を見ていると、これも探究のひとつなんだなぁと感じます。また、地域課題と結び付けて課題設定した生徒も多くいますので、地元の事業者さんなどの協力も得ながら、学びと活動を結びつけ、地域づくりへとつなげていけたらいいなと思っています。今後の生徒たちの活躍に乞うご期待!



写真: 4/24今年度初の探究授業の様子

佐伯高校魅力化担当 稲田

商店街のお祭り情報!

『佐方夜市』

毎年恒例の佐方中央商店会主催『佐方夜市』が今年も開催されます。佐方川緑地公園でのステージや大抽選会が行われたり、会員さんの店先でのビールや唐揚げ・焼きそばなど販売があります。

昨年度のステージパフォーマンスでは、吹奏楽部の演奏や山陽女学園高等部のマーチングバンドやカラーガード、ダンスの披露もありました。今年のステージでは、どんな発表があるかお楽しみに!

この機会に、佐方のまちを歩いて、お祭りを楽しんでみてください!

『けんだまつり』

日時: 2024年7月27日(土)

17時~21時

場所: けん玉商店街
(廿日市駅通り商店街)



日時: 2024年7月20日(土)

17時30分~

場所: 佐方川緑地公園



けん玉商店街(廿日市駅通り商店街)において、コロナ禍で2019年の開催を最後に見合わせていた「七夕まつり」をリニューアルして再開することとなりました。その名も「けんだまつり」です!

けん玉ワールドカップの決勝前夜祭に開催している「けん玉DEナイト」と同日に組み込み、これまで同様「地域の子どもたちを楽しんでもらう」お祭りとしてリニューアルします。

桑原旅館付近駐車場では、商店街や廿日市市内のお店などの飲食ブースやキッズゲームコーナーがあります。つつむ前駐車場ではステージ会場を設け、19時30分頃からは「けん玉DEナイト」で盛り上げます。この機会に商店街で楽しい思い出を作りましょう!

商店街活性化担当 狩山

伝統工芸継承担当

しもむら ゆうすけ
下村 祐介

【自己紹介】

はじめまして、伝統工芸継承担当の地域支援員に着任しました下村祐介(しもむら ゆうすけ)と申します。三重県出身で、大学進学で広島にやってきました。大学ではデザインや木工、漆芸を専門に学び、その中で宮島ろくろと出会い、その魅力に惹かれ仕事にしたいと思い、伝統工芸士の藤本悟氏から技術を学び、木作家として作品制作を行なっています。

前職では高校で非常勤講師として、木工実習やデザインの授業を受け持ち、ものづくりの楽しさやデザインの面白さを生徒たちに伝えていました。宮島ろくろをはじめとする、宮島細工を多くの人に知っていただけるよう、精一杯活動していきたいと思っています。

【主な仕事】

・宮島の伝統工芸「宮島細工」のPR、展示やイベント企画運営、伝統技術の習得、後継者の育成

【これからの抱負】

宮島細工が抱える、需要の縮小、認知度の低迷、後継者不足といった課題に向き合い、工芸産地としての活気を取り戻せるよう、商品開発や企画運営、SNSを通じて多角的に盛り上げていきたいです。また、ろくろの技術についてももしっかり修行し、一人前になれるよう、日々制作に励んでいきたいです。



※宮島細工は宮島で江戸時代から作られている工芸品の総称で「宮島彫」「宮島ろくろ」「杓子しゃくし」が主な品目です。

玖島地区活性化担当

ひがし あゆみ
東 歩

【自己紹介】

はじめまして、2024年4月から玖島地区活性化担当地域支援員に着任しました東歩(ひがしあゆみ)と申します。和歌山県で生まれ育ち、大学卒業後、教会、ミッションスクール、付帯保育園、関連の高齢者施設の働きや運営に携わってきました。また昨年度は、放課後児童会で小学生の子どもたちに関わってきました。これまでの経験を活かし、玖島地区のお一人お一人に寄り添えるような地域支援を目指してまいりたいと思います。趣味は読書と野菜作りです。

【主な仕事】

私の主な仕事は、開所2周年を迎えた玖島の里づくり交流拠点施設「玖島花咲く館」(旧玖島小学校)を活用し、様々な事業を企画し実施することです。またSNS等を活用した広報活動を行い、玖島地区の関係人口増加や移住・定住促進を目指します。玖島地区のこれからを一緒に考え、ビジョンを思い描けるよう活動を支援します。

【これからの抱負】

初めて玖島地区を訪ねた時、故郷の原風景のような玖島の景色に魅了されました。玖島の魅力を発信し、人と人を繋げる役割を担っていきたいです。また地区外の方が、玖島と繋がる小さなキッカケを増やしていきたいと思っています。子育て中の母親として、子どもや若い世代の方々が暮らしやすい支援も行っていきたいです。



新たな地域支援員の紹介

『NPOあさはら』からお知らせ

あなたは浅原で何したい？

今年の4月から、あさはらまちづくり交流センター(旧浅原市民センター、浅原交流会館等の一部の施設)を市から指定管理を受け、管理運営を行っている特定非営利活動法人NPOあさはらです。

浅原地区では、昨年度に地元コミュニティ組織である「浅原の未来を創る会」が、地区住民や廿日市市(行政)等いろんな人たちと一緒にビジョンを作成しました。

今後は、協議機能である浅原の未来を創る会と、実行機能であるNPOあさはらが、一緒にビジョンの実現に向けて取り組みます。

また、毎月開催している円卓会議では、ビジョンのテーマごとに、みんなで話し合い、いろんなアイデアが出ており、出されたいろんなアイデアをセンター事業として企画、実施していきます。

これらからの浅原に、ぜひご期待ください。



「あさはらまちづくり
交流センター」
Instagram

地域農業活性化担当

いぬい けんしろう
乾 堅士郎

【自己紹介】

はじめまして、2024年4月から地域農業活性化担当の地域支援員に着任しました乾堅士郎(いぬい けんしろう)と申します。廿日市市浅原地区の出身で、自然豊かで人が優しい地元が大好きなので、そんな地元で働けると知り応募させていただきました。前職では浅原の農園で働いていたので、そこで得た実地経験を活かしていきたいと思っています。

【主な仕事】

主な活動は、前任の支援員から引き続いてマコモタケの試験栽培、耕作放棄地の有効活用、地域のイベントを通じた特産品の販売やPR、特産作物の植え付け・栽培のお手伝い、農業体験を通じた交流人口増加への取り組みなどです。



【これからの抱負】

まず、なによりも「人と繋がる」ことが初めの業務だと考えています。地域に出て農家の方々と実際に会って活動し、現場の意見を取り入れたいと思っています。大好きな地元に貢献できる仕事なので、楽しみながら活動していきたいです。何もかも初めての経験でわからないことも多々ありますが、少しでも地域の方々の助けになれるよう頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。